



舞鶴市議会最年少議員

# 鴨田あまつ通信

後援会だより Vol.09

発行/鴨田あまつ後援会  
舞鶴市字境谷158  
TEL0773-75-0800  
mail k.akitsu3@gmail.com



先を急がず一歩一歩着実に  
コロナに打ち勝ちましょう



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年は新型コロナウイルスが世界中を襲い、現代を生きる我々にとって経験したことがない、まさに未曾有の事態となりました。政治の在り方も大きく問われた一年でした。自粛要請に対する補償の曖昧さ、地方への責任転嫁など、我が国はいざという時に法体系が機能しないことが明白になりました。

舞鶴市議会では、地域医療体制の確保、地域経済の復興、自治体への財政支援、新たな雇用の創出に向けた取組等を要望として取りまとめ、国に対して意見書を4度にわたり提出してきました。これからも引き続き地方から声を届けて参るとともに、市政においても、市民の皆様へ寄り添った政策が展開されていくよう、チェック機能を持つ議会として、その責任を果たして参りたいと存じます。

さて今年の干支である丑年ですが、牛は大変な農作業をしっかり手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「耐える」、「これから発展する前触れ・芽が出る」というように言われており、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年であると認識しております。結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと積み上げていくことが重要でしょう。国においても、ワクチンの実現化など着実に進んでおり、今年は必ずコロナに打ち勝ちましょう。

最後になりましたが、本年も皆様には変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



2021年1月吉日 鴨田 秋津

令和2年  
12月定例会

舞鶴市議会として高浜発電所1、2号機の  
再稼働容認を決議。私は時期尚早として反対!

今定例会では、高浜発電所の再稼働に関連する2つの請願書が出されました。

(請第2号) 高浜原発1・2号機の再稼働中止を求める請願

(請第5号) 高浜発電所1・2号機の再稼働に関する請願

一方は「**関電や関係機関に対して、議会として再稼働中止を求めている**」との要旨、もう一方は「**再稼働を舞鶴市議会として容認してほしい**」との要旨で、対極の内容です。

再稼働することで生じるリスクは、福島事故以来、安全神話が崩壊し**事故が起こった時の代償は計り知れない**ということ。

一方で、再稼働しないことで生じるリスクは、

- ①電気料金が家庭用で約23%、産業用でも約25%アップし、経済的に大きな負担となっている(震災前との比較)
- ②エネルギー自給率の低下による**海外依存度の上昇**
- ③本市に住む、原子力発電所やその関連企業で働く**多くの方々の雇用**



**原発を再稼働するか否か、いずれをとっても大きなリスクを背負うという究極の選択を私達は迫られています。**

私は、それらを総合的に踏まえた上で、現状においては再生可能エネルギーの不安定さを補完するベースロード電源が必要という認識を持っています。そしてこの度、国の新規制基準適合によって安全性が一定確認された高浜発電所1、2号機の再稼働は、やむを得ないという判断をしておりますが、**将来的には脱原発すべき**との立場であります。

よって、そもそも即時原発不要論の**請第2号**には反対しました。

**請第5号**については、地元商工会議所からの請願であり、内容について一定理解したものの、今議会で審査を終結させるのはあまりに時期尚早であり、**継続審査**を求め動議を提出し、賛成者が数名で、動議は成立いたしました。

動議を提出している模様です→



本会議最終日に動議を提出している模様

しかし**継続審査**の提案を否決されたので、やむなく**請第5号**についても反対しました。(裏面にその具体的な理由について記載します)